

逃げなさい

創世記	19:12 二人の客はロトに言った。「ほかに、あなたの身内の人がこの町にいますか。あなたの婿や息子や娘などを皆連れてここから 逃げなさい 。
	19:17 彼らがロトたちを町外れへ連れ出したとき、主は言われた。「 命がけて逃れよ。後ろを振り返ってはいけない。低地のどこにもとどまるな。山へ逃げなさい。さもないと、滅びることになる。 」
	19:22 急いで 逃げなさい 。あなたがあの町に着くまでは、わたしは何も行わないから。」そこで、その町はツォアル(小さい)と名付けられた。
サムエル記下	15:14 ダビデは、自分と共にエルサレムにいる家臣全員に言った。「直ちに 逃れよう 。アブサロムを避けられなくなるとはいけない。我々が急がなければ、アブサロムがすぐに我々に追いつき、危害を与え、この都を剣にかけるだろう。」
詩編	11:1 【指揮者によって、ダビデの詩。】主を、わたしは避けどころとしている。どうしてあなたたちはわたしの魂に言うのか/「鳥のように 山へ逃れよ 。
エレミヤ書	4:5 ユダに知らせよ、エルサレムに告げて言え。国中に角笛を吹き鳴らし、大声で叫べ/そして言え。「集まって、城塞に 逃れよう 。
	48:6 逃げよ、自分の命を救え 。しかし、お前は荒れ野のアロエル(→アルノン川沿いの町=申命記2:36、ビヤクシン属の常緑樹)のようになる。
	49:8 デダンの住民たちよ。 逃げよ 、退け、深い谷に隠れよ。なぜなら、わたしがエサウに災いを/彼を罰する時を来させるからだ。
	49:30 ハツォルの住民よ/ 逃げよ 、落ち延びよ/深い谷に隠れよ、と主は言われる。バビロンの王ネブカドレツアルが、お前たちを攻める計画を練り、お前たちを滅ぼす企てを立てているからだ。
	50:8 逃れよ 、バビロンの中から。カルデア人の国から出よ/群れの先頭を行く雄羊のように。
ゼカリヤ書	2:10 急いで、北の国から 逃れよ と/主は言われる。天の四方の風のように/かつて、わたしはお前たちを吹き散らしたと/主は言われる。
	14:5 あなたたちはわが山の谷を通して 逃げよ 。山あいの谷はアツアルにまで達している。ユダの王ウジヤの時代に /地震を避けて逃れたように逃げるがよい。わが神なる主は、聖なる御使いたちと共に/あなたのもとに来られる。
マタイによる福音書	24:15、16 「預言者ダニエルの言った憎むべき破壊者が、聖なる場所に立つのを見たら——読者は悟れ——、そのとき、ユダヤにいる人々は 山に逃げなさい 。
マルコによる福音書	13:14 「憎むべき破壊者が立ってはならない所に立つのを見たら——読者は悟れ——、そのとき、ユダヤにいる人々は 山に逃げなさい 。
ルカによる福音書	21:21 そのとき、ユダヤにいる人々は 山に逃げなさい 。都の中にいる人々は、そこから立ち退きなさい。田舎にいる人々は都に入ってはならない。

☉ソドムの滅亡に先だって、神はロトに言われた。「のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。低地にはどこにも立ち止まってはならない。山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます」(創世記19:17)。エルサレムが滅亡する前にも、キリストの弟子たちは、この同じ警告の声を耳にした。「エルサレムが軍隊に包囲されるのを見たならば、……そのとき、ユダヤにいる人々は**山へ逃げよ**」(ルカ21:20、21)。彼らは、財産を少しでも持っていくために止まってはならなかった。彼らはそれを脱出の絶好機としなければならなかった。

人類のあけぼの 第14章 ソドムの滅亡 希望への光 P.81

☉キリストはエルサレムにのぞむ滅亡のしるしを弟子たちに与え、のがれる方法を彼らに語られた。「エルサレムが軍隊に包囲されるのを見たならば、そのときは、その滅亡が近づいたときとりなさい。そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。市中にいる者は、そこから出て行くがよい。また、いなかにいる者は市内にはいつてはいけない。それは、聖書にしるされたすべての事が実現する刑罰の日であるからだ」(ルカ21:20-22)。この警告は、40年のちすなわちエルサレムの滅亡の時に注意するように与えられたのであった。クリスチャンはこの警告に従ったので、エルサレムの陥落の時には、クリスチャンはひとりも死ななかつた。各時代の希望 第69章 オリーブ山上で 希望への光 P.1044

○イエスは、耳を傾けている弟子たちに、背信したイスラエルに下る刑罰、特に、メシヤを拒んで十字架につけることに対して下る懲罰報復を明らかにされた。恐るべき頂点に達する前に明白なしるしが現われる。恐怖すべき時が、突然、急速にやってくる。救い主は、弟子たちに次のように警告を發せられた。「預言者ダニエルによって言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場所に立つのを見たならば（読者よ、悟れ）、そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ」（マタイ24：15、16）。エルサレムの城外、数マイルにわたる聖地に、ローマ人の異教の軍旗が立てられる時、キリストに従う者たちは、安全をもとめて逃げなければならなかった。警報が見えたならば、**のがれることを望むものはためらってはならなかった**。避難警報は、エルサレム城内と同様に、ユダヤ全土において、直ちに従うべきものであった。屋上にいる者は、どんなに大切な宝物であっても、それを取りに家の中に入ってはならなかった。畠やぶどう畑で働いていたものは、日中働いていた時に脱いでおいた上衣を取りに帰ってはならなかった。彼らは、**一瞬でもためらってはならなかった**。さもないと一般の人々と共に滅びにまき込まれてしまうのであった。各時代の争闘 第1章 世界の運命の預言 エルサレム滅亡の預言 希望への光 P.1599

【参考】救いの時(イザヤ書 30:18~26)

それゆえ、主は恵みを与えようとして／あなたたちを待ち／それゆえ、主は憐れみを与えようとして／立ち上がられる。まことに、主は正義の神。なんと幸いなことか、すべて主を待ち望む人は。19 まことに、シオンの民、エルサレムに住む者よ／もはや泣くことはない。主はあなたの呼ぶ声に答えて／必ず恵みを与えられる。主がそれを聞いて、直ちに答えてくださる。20 わが主はあなたたちに／災いのパンと苦しみの水を与えられた。あなたを導かれる方は／もはや隠れておられることなく／あなたの目は常に／あなたを導かれる方を見る。21 あなたの耳は、背後から語られる言葉を聞く。「これが行くべき道だ、ここを歩け／右に行け、左に行け」と。22 そのとき、あなたは銀で覆った像と／金をはり付けた像を汚し／それを汚れたもののようにまき散らし／「消えうせよ」と言う。23 主は、あなたが地に蒔く種に雨を与えられる。地の産み出す穀物は豊かに実る。その日には／あなたの家畜は広い牧場で草をはみ24 地を耕す牛やろばは／ふるいや箕でえり分け／発酵させた飼葉を食べる。25 大いなる殺戮の日、塔の倒れるとき／そびえ立つすべての山、高い丘の上に／水路が造られて、水を運ぶ。26 主が民の傷を包み／重い打ち傷をいやされる日／月の光は太陽の光になり／太陽の光は七倍になり／七つの日の光となる。